

平成 22 年 10 月 21 日

保護者様

大阪府立今宮高等学校
校長 糀 秀 章

平成 23 年度以降の学校制度変更について

秋冷の候、保護者の皆様には益々ご清祥のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力賜わりまして有難うございます。

さて、本校では総合学科への改編後、多様な選択科目の提供など特色ある教育活動を展開してきました。改編後 15 年が経過し、大学進学に必要な科目の増加、生徒の進路希望や興味関心、そして社会で求められる育成すべき力の多様化や変化への対応が必要になってきています。

このような状況の中、平成 25 年度からの新教育課程の実施を視野に入れながら、次の学校制度の改革を行うことにしました。

① 平成 23 年度より 3 学期制とします。

前後期制を見直し、学習と長期休みとの整合を良くするため、本年度は 7 月にも定期考査を実施しました。来年度から 3 学期とし、学習の区切りと長期休みを整合させます。

② 平成 24 年度より授業を週当たり 2 時間増やします。

大学進学に必要な科目の増加や生徒の進路希望・興味関心にあった科目を選択できる余地がない現状を解決するため、週当たりの授業を 1 年で 1 時間、2 年 3 年で 2 時間増やし、週 33 時間の授業をします。

③ 平成 24 年度より 1 時限の授業を 45 分とし、1 日は 7 時限とします。

50 分授業のまま、週あたりの授業時間を増やしますと、放課後の時間が大幅に少なくなり、十分な部活動ができなくなります。そこで、1 時限当たりの授業を 45 分とすることで、放課後の時間を確保します。少なくなった 5 分の補充は、週当たり 2 時限（45 分×2）を補充に充てる他、長期休業等に補充授業を行います。

今後とも生徒や社会のニーズに応じた総合学科として多様な学びが提供できるよう、必要な改革を続けてまいりますのでご理解、ご支援賜りますようお願いいたします。